

川内村村民、小野町町民、三春町町民のみなさんへ

## 健康診査記録を用いた東日本大震災前後の健康状態の検討

京都大学医学研究科環境衛生学分野では川内村、小野町、三春町で行われている健康診査のデータを使って、皆さんが震災前とくらべて健康状態が変わってないかを研究します。

震災以前の健診結果と震災後の結果を比較することが今回の目的です。この研究結果を村・町役場と検討することで地域の保健対策に貢献できると考えます。

そのため、京都大学医学研究科環境衛生学分野が、川内村、小野町、三春町にて健診を受けられた方のデータを利用させていただくことといたしました。

これらのデータは通常に健診を受けていただく際に記録されたデータであり、新たに特別に採血などみなさんに御負担いただくものではありません。また、みなさんのお名前は数字に変えて（匿名化され）、京都大学に渡されるため、プライバシーは保護されています。この研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。この研究にデータを利用されたくないと考えた場合は、研究対象者又はその代理人より下記連絡先にお伝え下さい。その研究対象者が識別される情報の利用を停止いたします。またこの研究に関する資料の入手・閲覧を希望される場合、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内でお知らせいたしますので、下記連絡先にお伝え下さい。

みなさんにはデータ利用の目的と趣旨をご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。このような研究に対してご質問のある方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

最後に、1日も早い震災からの復興を願っております。

京都大学医学研究科環境衛生学分野 准教授 原田浩二

### 研究の概要

- (1) 対象者の受療施設名 川内村、小野町、三春町
- (2) 対象となる生物学的・医学的特性 特定健康診査、後期高齢者健康診査  
項目：性別・年齢・避難状況・世帯構成・身長・体重・BMI・腹囲・血圧・蛋白・糖・潜血・中性脂肪、HDL・LDL コレステロール、AST、ALT、GTP・血糖・HbA1C、貧血・尿酸・クレアチニン検査および既往歴と過去の問診データ
- (3) 対象となる期間 2009年～2020年
- (4) 研究期間 2016年12月12日～2024年3月31日
- (5) 研究目的の概要 震災後の健康状態の変化を調べます。

研究計画名 健康診査記録等を用いた東日本大震災前後の健康状態の検討

- (6) 研究方法の概要 上記の期間の健診データ、世帯構成を使って、震災を前後して変化した健診項目がないかを検討します。
- (7) 個人情報保護の仕組み 健診データは個人を特定する名前などを数字に変えてから京都大学に提供されますので、みなさんのお名前が分からない状態になっています。
- (8) 了解を求める事項 健診を受けられた方の健診データ、世帯構成を使わせていただきます。
- (9) 研究資金 この研究は京都大学運営費交付金および科学研究費助成事業「福島県の山間村落を対象とした森林除染の必要性と実現可能性に関する検討」により実施しています。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学利益相反審査委員会」において適切に審査されています。資金提供者は研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与していません。
- (10) 研究の主体および問い合わせ先

研究責任者 京都大学医学研究科環境衛生学分野 准教授 原田浩二

京都市左京区吉田近衛町、075-753-4490

医学研究科相談窓口

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

(Tel) 075-753-9301

(E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp